

平成 30 年度 公益社団法人静岡県理学療法士会 基本方針

1. (重点課題) 健康増進・介護予防事業への人材登用促進ならびに業務の定着

シルバーリハビリ体操等を使用した継続的な介護予防ツールを市町に紹介していく
市町から要請される介護予防事業への積極的派遣（県リハ専協議会と連携）
企業とタイアップした介護予防事業の実施：ダイハツ自動車と協力
公開講座ならびに介護キャラバン事業の拡大

2. 県リハ専協議会と連動した地域包括ケアシステム（地域ケア会議・介護予防事業等）での人材育成

県リハビリテーション専門職団体協議会の推進する研修事業等への協力
県リハビリテーション専門職団体協議会の派遣員登録の促進
医療・福祉関係諸団体との連携による新規分野での協力関係構築および推進
県健康福祉部が立案する地域リハビリテーション推進員育成事業への協力

3. (重点課題) 理学療法士の質を担保できる研修体制の見直しおよび再構築

<臨床を学べる県 しずおか>

理学療法士の臨床実践力向上のための研修体制・内容の再検討
新生涯学習システム導入を見据えた研修体制の整備（OJT 研修可能施設登録等）
協会指定管理者研修との連動、職能別研修機会の増大
理学療法士におけるクリニカルラダーの検討<しずおかスタイル>：特別委員会設置

4. 支部機能の強化とネットワーク機能構築

協会指定管理者研修と連動した職場管理者ネットワーク構築
病床機能分化の推進および障害児者、行政等、領域に即したネットワークの構築
医療・福祉圏域および市町単位での地域包括ケアに関わる担当者間のネットワーク構築
医療福祉圏域および市町レベルでの行政・関連団体との連携強化・窓口設定

5. 訪問リハビリテーションを積極的に推進するための組織作り

県リハビリテーション専門職団体協議会が主催する訪問リハ人材育成事業への協力
県リハビリテーション専門職団体協議会が主催する訪問リハシンポジウムへの協力
訪問リハビリテーション事業者連絡会の設置とネットワーク構築

6. (重点課題) 法人組織基盤の強化ならびに事務局機能の拡充と組織率改善に向けたアプローチ

事務長の配置と適正な人員配置検討（専従事務職員の増員）
事務局機能の見直しと新組織への移行による業務分掌の再設定
経費削減対策の継続および運用資金の適正使用
養成校卒業生・既卒非会員にむけた組織率向上キャンペーンの実施
組織率調査（県内施設へのアンケート調査）の実施

事務所購入に向けた資金計画等の作成

7. 士会学術活動に関する見直しによる情報発信できる体制の構築

県学会ガイドラインの修正と早期運用

学会への集客性向上に向けた取り組みの検討

専門部会構成の再検討

専門部会主催研修会の見直しおよび再構成

8. 健康増進部門の業務拡張

健康増進事業への PT 派遣事業検討及び対応

産業労務管理に関する派遣員の教育研修体制の整備

9. 会員の倫理観向上に向けた取り組み

会員倫理教育の徹底

セクハラ・パワハラ事例に関する管理者研修の検討

10. 渉外力の向上

関連職種団体（医師会・看護協会等）との連携強化

行政企画部による「県政への要望書」作成（POS 協議会・連盟と共同）

創立 50 周年記念式典の開催（H31 年）および記念誌の発行（特別委員会設置）

11. 災害対策に関わる取り組み

静岡 JRAT への協力：災害ボランティア登録・研修体制

静岡県理学療法士会 BCP マニュアル・災害対策マニュアル・災害時対応ガイドラインの修正

災害時に会員の安否確認が確実にできるためのシステム検討

（短期目標：1～2 年）

1. 介護予防事業への積極的参入・拡大
2. 地域包括システム調整員育成と連動した地域リハ支援活動への浸透
3. 職場管理者・職能別・医療福祉県域各々でのネットワーク構築
4. 理学療法士の臨床実践力向上のための研修体制・内容の再検討（特別委員会設置）
5. 事務長配置と事務局専従事務員の増員
6. 災害時理学療法研修の充実と JRAT 支部登録員の加入促進
7. 創立 50 周年記念式典の開催および記念誌の発行（特別委員会設置）

（中期目標：3～5 年）

1. 医療圏単位での支部の設立
2. 士会組織体制の見直し（新組織移行して 3 年経過後）
3. 企業との産業労務管理領域での連携，人材派遣

4. 事務所専従役員の配置（リハビリ相談窓口の常設化）
5. 第37回東海北陸理学療法学会の開催（H33年開始予定）
6. 学術研修大会ならびに専門領域に分化された学会への協力

（長期目標：6～10年）

1. 事務所の購入
2. 専門領域に分化された学術大会の誘致および開催

平成 30 年度 事業計画

＝ 事務広報 ＝

1. 事務所機能の強化推進
 - ①事務所における適正事務職員の配置（増員検討）及び務効率化の推進
 - ②情報共有を目的にした事務局内連携強化
 - ③事務機器管理（機器老朽化対策）PC・印刷機等リースや買い替えの検討。
 - ④データ管理及びバックアップ（災害対策）遠隔地クラウドシステム導入検討の継続
2. 経済的基盤の強化に関わる対策の継続。
 - ・支出面の管理及び、その適正化を促す。
 - ・公益事業比率の維持。
3. 司法書士・会計事務所との必要に応じた提携。
4. 年間行事計画の立案
5. 組織率の維持向上対策
 - ①県内養成校 7 校を訪問し入会説明を行なう
平成 31 年 2 月末予定
 - ②新人オリエンテーションの立案
平成 30 年 4 月 21 日予定
6. その他
 - ①公益法人定期提出書類作成

－ 事務局 －

総務部

1. 総務
 - ①会員情報管理：会員管理システム管理、役員への会員情報提供（情報提供要請の窓口）
 - ②文書管理：公文書、後援依頼、派遣依頼等文書発行、会議・活動記録の保管、総会資料の作成
 - ③団体保険契約関連

- ④県内養成校・優秀学生 士会長表彰準備
2. 会議開催準備及び運営
 - ①理事会（定例・拡大）
 - ②定時総会
 - ③予算編成会議
 - ④新人オリエンテーション
3. 用度
 - ①備品の管理：備品台帳の更新、保管
 - ②消耗品管理：封筒、役員名刺などの発注
 - ③不要文書および物品の廃棄：耐用年数超過物品などの廃棄。
4. 経理
 - ①源泉徴収税：納入、支払調書作成・提出
 - ②法人税：法人市民税・法人県民税の申告
 - ③会費請求書の発行
 - ④理事会関連経費等の支給

財務部

1. 財務管理
 - ・銀行口座の管理
 - ・収支管理
2. 会費納入の管理
 - ・会費納入の確認と管理
 - ・未納会員への催促
3. 予算・補正予算管理
 - ・予算振込、返金の管理
 - ・補正予算振込、返金の管理
4. その他法人財務に関する業務
 - ・広告費請求書作成、送付
 - ・その他

行政企画部

- ・静岡県リハビリテーション専門職団体協議会や静

岡山県理学療法士連盟等他団体と調整しつつ、必要に応じて公共の福祉改善等を目的に行政への提言や公的基金等の調査・検討・申請等を担当する。

・委託公益事業の方針等の検討等を行う。

渉外部

1. 派遣受付の窓口機能・及び派遣調整

例：介護認定審査会委員、障害程度区分認定審査会委員、包括支援センター運営協議会委員等

2. 各種団体との連絡調整

一 広報局 一

・広報誌「ゆまにて」とホームページを二本の柱として、静岡県理学療法士会活動を広報する。ホームページの運営は建設的運営をする。広報紙の関連では、原稿の依頼や取材に加え編集構成に関わる統括的業務を受け持つ

・広告掲載（求人等の有料掲載）管理及び依頼主との連絡・調整を行う。

ゆまにて編集部

静岡県理学療法士会の広報活動の一環として、広報誌「ゆまにて」と「ゆまにて特別号」を発行する。配布先は、主として本会会員および各都道府県理学療法士会、広告掲載事業所、県民などとする。

1. 広報誌「ゆまにて」年間6回の編集・発行
2. 広報誌「ゆまにて特別号」年1回の編集・発行
3. 広報誌「ゆまにて」「ゆまにて特別号」の取材・印刷作業。
4. 広告の管理確認
5. 静岡県理学療法士会理事会の書記。
6. 各イベントの取材。
7. その他

ホームページ管理部

静岡県理学療法士会のサイト運営と管理を行う。公益性のあるホームページへの完全リニューアルと、迅速な対応が可能な体制を整えていく。また、サーバー管理や各役員が所有しているメールアドレスの管理を行う。

1. 静岡県理学療法士会サイトの管理
2. サイトマップの修正、HP フレームの作成
3. サーバーデータの管理
4. メールアドレスの管理
5. その他

メールFAX通信部

会員に対し、ゆまにておよびホームページで対応困難な広報・周知事項をFAXおよび電子メールを用いて伝達する。なお、扱う情報は、緊急かつ重要な情報に限る。理事会通信の発行。

= 学術生涯学習 =

学術局は、会員および一般県民の資質向上のため学会部・学術誌部・専門領域部の3部体制で、静岡県理学療法士学会の開催、学術誌の発行、専門領域部研修会の開催など学術的な活動を行っている。また、生涯学習局や各地区と連携し研修内容や研修体制を検討し、会員や一般参加者に安定した対応が出来るよう各部の体制を整えていく。

一 学術局 一

学会部

1. 第22回静岡県理学療法士学会開催
学会長：矢倉千昭（聖隷クリストファー大学）
準備委員長：森下一幸
（浜松市リハビリテーション病院）

会期：平成30年6月24日（日）

会場：アクトシティ コングレスセンター
（浜松市中区）

テーマ：「みる力」

参加者見込み：785名（会員・学生・会員外・他職
種・他県士会員）

演題：一般演題発表（口述30、ポスター18）。フ
レッシュマンズ・セッション（ポスター
54）。主題演題（口述3）

シンポジウム：

「理学療法士に求められるプロの観察力と思
考力」

専門部会セミナー：3部会（運動器系理学療法・
内部障害系理学療法・教育管理系）

市民公開講座 テーマ：

「みるみる上達！ジュニアスポーツと姿勢」

講師：栗田泰成（常葉大学） 定員：200名

運営委員：108名

時期	内容
4月	定例準備会議1回
5月	会場責任者会議1回、定例準備会議1 回 財務局会議1回、運営局会議1回
6月	前日準備、拡大準備会議1回
7月	優秀演題選考会議1回、会計監査1回

2. 第23回静岡県理学療法士学会開催準備

学会長：宮下正好

（富士リハビリテーション専門学校）

副学会長：勝又健雄（沼津市立病院）

準備委員長：市村真樹

（富士リハビリテーション専門学校）

会議予定：準備会議14回（拡大準備会議2回、定
例準備会議12回）、各局内会議約18回、査読会議
2回、学術誌校正会議2回

事業内容：企画書完成、演題募集・採択、後援依
頼、懇親会企画、託児業者選定・依頼、書店業者

依頼、物品借用業者選定・依頼、運営マニュアル
作成、運営委員募集、学会HP開設、ポスター作
成、学会誌作成

3. 第22・23回県学会のサポート

準備委員会への学会評議委員の参加（適時）、第1・
2回査読会議の出席、優秀演題選考会議（学会部
長）

4. 22回学会ー23回学会引継ぎ会議

5. 第24回県学会長の選出および開催準備（H31年 1月より準備委員会開催）

学会三役に学会依頼会議の開催（概略の説明等）

6. 学会ガイドライン及び各マニュアルの見直し

7. 学会部会議の開催（事業振り返りと次年度に向 けて）

8. 第37回東海北陸理学療法学会大会議長選出のた めの検討

学術誌部

1. 静岡県理学療法士学会学術誌第37号発行および 発送（9月3500部）

2. 各専門部会、優秀演題者への論文作成依頼

3. 学術誌投稿規定の修正

4. 査読者選考基準の構築と運用

5. 国立図書館、医中誌、J-STAGE、メディカルオ ンラインへの学術誌登録

専門領域部

① 専門部会会員登録管理

② 専門部会規程の見直し

③ 専門部会研修会開催についてのマニュアル化

④ 専門部長会議の開催

⑤ 専門部会組織の再編

神経系理学療法専門部会

- ① 神経系理学療法専門部会成人部門研修会
- ② 神経系理学療法専門部会小児部門研修会
※以上、日時・場所：未定（参加各 50 名を予定）
- ③ 症例検討会
- ④ 静岡県理学療法士学術誌への論文掲載
- ⑤ 神経系専門部会組織図策定

生活環境支援系専門部会

- ① 第 12 回地域リハビリテーション実践研修会
日時および内容：未定
場所：常葉大学
参加：20 名（予定）
- ② 第 13 回地域リハビリテーション実践研修会
日時および内容：未定
場所：常葉大学
参加：20 名（予定）

内部障害系専門部会

【呼吸】

- ① 平成 30 年度静岡呼吸リハビリテーション研修会
日時：未定
場所：常葉大学水落キャンパス（予定）
内容：呼吸リハビリテーションの基礎と実際
参加：80 名（予定）
- ② 内部障害系（呼吸）専門部会研修会
日時：平成 30 年 10 月予定
内容および場所：未定
参加：40 名（予定）

【循環】

- ① 内部障害系（循環）専門部会研修会 1
日時：平成 30 年 9 月予定
内容：心疾患のサルコペニア・フレイルについて
場所：常葉大学水落キャンパス
参加：40 名（予定）
- ② 内部障害系（循環）専門部会研修会 2
日時：平成 30 年 2 月予定
内容：心疾患の回復期・生活期の連携について
場所：未定

参加：40 名（予定）

【がんのリハビリテーション】

内部障害系（がん）専門部会研修会
日時：平成 30 年 6～7 月予定
場所：静岡県立総合病院
内容：離床支援、実技（検討中）
参加：30 名（予定）

運動器系理学療法専門部会

- ① 運動器系理学療法専門部会 症例検討会
日時および講師：未定
会場：中部地区
テーマ：症例検討
定員：30 名
 - ② 運動器系理学療法専門部会 研修会 I
日時・テーマおよび講師：未定
会場：東部地区
定員：30 名
 - ③ 運動器系理学療法専門部会 研修会 II
日時・テーマおよび講師：未定
会場：西部地区
定員：30 名
 - ④ 運動器系理学療法専門部会 研修会 III
日時：平成 30 年 2 月
会場：東部地区
テーマおよび講師：未定
定員：30 名
 - ⑤ 第 22 回静岡県理学療法士学会専門部会セミナー
日時：平成 30 年 6 月 24 日
会場：アクトシティ浜松
テーマ：「障害者スポーツ」
講師：小林敦郎
(順天堂大学医学部附属静岡病院)
定員：未定
 - ⑥ 静岡県理学療法士学術誌への論文掲載
- 研究・開発支援系専門部会**
- ① 2018 年度 研究開発支援講座開催

・専門職および他職種の研究実践者の育成を目的に、研究開発支援講座を開催する。

・研究開発支援講座では、研究計画の立案・実施、データ解析から学会発表、論文作成までの一連の研究過程の実践を支援していく。全3回開催予定。

会場：東・中・西各地区1回

参加者：各15名程度

講師：金原一宏一他

■研究総論(研究の意義・量的研究と質的研究・文献収集・研究疑問の設定)(東部地区)

日時：2018年6月実施予定

会場：三島市民文化会館予定

講師：金原一宏(聖隷クリストファー大学)

参加：15名(予定)

■統計入門(指標の尺度・対応の有無・パラメトリックとノンパラメトリック・T検定・相関分析)(中部地区)

日時：2018年10月実施予定

会場：静岡駅前会議室予定

講師：依祐一(聖隷クリストファー大学)

参加：15名(予定)

■臨床研究の実践(臨床症例研究について・症例検討)(西部地区)

日時：2018年12月実施予定

会場：聖隷クリストファー大学予定

講師：田中真希(聖隷クリストファー大学)

参加：15名(予定)

② 研究進捗報告会開催

・2017年度から進めている研究について、進捗報告会を開催し、学会発表や論文投稿までを実践的に指導していく。

・県学会・東海北陸ブロック学術大会・分科会学術集会などに演題登録または発表の指導をする。

・支援講座の開催月以外の月(8・9・11・1月)に開催する。

会場：聖隷クリストファー大学およびテレビ会議予定

アドバイザー：金原一宏、依祐一、田中真希

(聖隷クリストファー大学)

山崎達彦(中伊豆温泉病院)

教育管理系専門部会

■教育・管理系理学療法についての専門知識の普及

■東部・中部・西部の支部体制構築による静岡県全域にわたった継続的・発展的な活動の展開

■理学療法士の質を向上するための中堅理学療法管理者教育システムの構築と提言(発信)

① 教育管理系専門部会会議

第1回：平成30年5月26日(土)

今年度事業計画、予算確認

第1回研修会企画・審議

第2回：平成30年10月27日(土)

次年度事業計画・予算審議

第2回研修会企画・審議

時間：13:00~15:30

場所：静岡石田Ryuメディカルトレーニングデイ

② 平成30年度研修会

【第1回】

日時：平成30年9月23日(日)

場所：西部地区

内容：講義・ワークショップ・演習等

定員：25名

【第2回】

日時：平成31年1月27日(日)

場所：東部地区

内容：講義・ワークショップ・演習等

定員：25名

③ 教育管理に関する実態調査(社会局調査部との合同調査)

④ 臨床実習NG集 DVD貸出

⑤ 学術誌執筆

— 生涯学習局 —

県内理学療法士の資質向上のため研修会部・ポイント認定部・新人教育部・理学療法士講習会部の4部

門の協調運営の充実を図る。それに加え、学術局と連携し研修体制の見直しを推進していく。

各部では、①新人教育プログラムの履修率向上及び地区連との連携強化に加え症例検討会の充実（新人教育部）、②安定した講習会の運営（理学療法士講習会部）、③広い領域を意識した研修テーマの立案および実施（研修部）、④生涯学習ポイント付与等業務の向上・効率化および安定した運営方法の検討（ポイント認定部）等を推進する。

加えて、平成34年度以降に施行予定である、生涯学習システムへの対応についての情報収集や準備を進めていく。

新人教育部

1. 東部・中部・西部各地区の運営協力のもとに新人教育プログラム研修会を開催する。
2. 地区との連携を重視し、各地区別副部長を配置した体制を継続する。
3. 新人教育プログラム研修会の内、必須カテゴリー研修（A1～A-5）は5～6月頃開催とし、他カテゴリー研修については新入会員の手に会員証が届く30年秋以降に開催する。
4. 新人教育部主催症例検討会の実施
各地区開催の内、1地区は夏開催とし県学会などでの発表を促進する。
5. HP・ゆまにて・生涯学習局 Twitter を活用し、積極的な情報提供に努める。

<新プロ研修会開催予定>

※平成30年5月～平成30年12月の間に全3回の新人教育プログラム研修会を実施する。

全11カテゴリーを各地区1回、下記日程で開催予定。

【第1回】

平成30年7月8日 西部（静岡医療科学専門学校）

平成30年7月29日 東部（湖山リハビリテーション病院）

平成30年8月5日 中部（藤枝市立総合病院）

A-2 協会組織と生涯学習システム

A-1 理学療法と倫理

A-4 人間関係及び接遇

A-5 理学療法における関連法規

A-3 リスクマネジメント

【第2回】

平成30年9月2日 東部（伊東市観光会館）

平成30年9月9日 西部（常葉大学浜松キャンパス）

平成30年9月23日 中部（静岡県立総合病院）

D-2 生涯学習と理学療法の専門領域

D-1 社会の中の理学療法

B-4 症例報告・発表の仕方

【第3回】

平成30年12月9日 東部（未定）

平成30年12月16日 西部（磐田市立総合病院）

平成31年1月27日 中部（中央医療健康大学校）

E-2 コーチングとティーチング

B-2 クリニカルリーズニング

B-3 統計方法論

<生涯学習局主催の症例検討会>

※平成30年7月～8月に1回、平成31年1月～2月の間に2回、延べ3回の症例検討会（各地区1回、別日程で開催予定）を実施する

※新プロ研修会及び症例検討会の開催日は調整中。他局事業等の関連で開催日が同日となる事もある。日程調整は早期完了を心掛け、決定次第HP・ゆまにて・生涯学習局 Twitter で公表する。

ポイント認定部

1) 包括会員管理システムの円滑な運用を行うための施策を継続し実施する

・県士会主催研修会のセミナー登録、協会申請に伴う各部との連携強化、個人情報を扱う際のセキュリティ強化での連携 <継続>

- ・ 県士会主催研修会における講師・査読者・座長などのポイント申請代行作業
 - ・ 県学会などでの入退室管理システムによる受付作業
 - ・ 新プロ、専門部会などの研修会における単位認定条件の明確化 〈継続〉
 - ・ 啓蒙活動、新プロ修了申請や専門・認定理学療法士制度への移行推進 〈継続〉
 - ・ 新生涯学習システム移行への準備・会員への情報提供
- 2) 情報の提供
- ・ ホームページ, 「ゆまにて」を通じて新プロなどの情報を提供する
- 3) 生涯学習システムへの質問対応

研修部

平成 30 年度は研修部研修会を年間 4 回企画・運営する。内 1 回は新人教育プログラムの新カリキュラムを開催する。

【第 1 回】平成 30 年 6 月 17 日

会場：富士リハビリテーション病院
 テーマ：膝関節の徒手的功能判断と徒手的治疗手技について
 講師：安藤正志先生（法政大学）
 定員：30 名

【第 2 回】平成 30 年 7 月 8 日

会場：中東遠総合医療センター
 テーマ：産前産後のリハビリテーション
 講師：坂本飛鳥（聖隷クリストファー大学）
 真船祉歩先生（OT）
 定員：50 名

【第 3 回】平成 30 年 11 月 11 日

会場：常葉大学静岡キャンパス水落校舎
 内容：新プロ「理学療法の臨床」C-1～C-4
 講師：未定

【第 4 回】平成 30 年 12 月 9 日

会場：常葉大学静岡キャンパス
 講師：加藤倫卓（常葉大学）、忽那俊樹先生（東

京工科大学）

定員：100 名

テーマ：「心臓・腎臓リハビリテーションの運動処方とリスク管理」

理学療法士講習会部

1. 理学療法士講習会の企画・運営

今年度も理学療法士講習会を開催する。これまで以上に各講習会担当者との連絡を密にし、安定した講習会運営を目指す。また、本年度は県士会として新規講習会（予防分野）を申請・開催し、会員のみならず一般市民の健康に寄与できるような講習会を運営していく。

2. 理学療法士講習会開催（基本編 理論）

①下肢運動器疾患の理学療法 ～変形性膝関節症・変形性股関節症を中心に～

日時：平成 30 年 8 月 18 日～8 月 19 日

会場：常葉大学水落キャンパス

定員：100 名

②理学療法における予防の実践 ～予防理学療法の普及について～

日時：平成 30 年 9 月 30 日

会場：常葉大学水落キャンパス

定員：100 名

③脳血管疾患に対する評価・治療の基礎

日時：平成 31 年 1 月 20 日

会場：常葉大学水落キャンパス

定員：100 名

= 職能公益事業 =

法人の性格に直結する公益事業を主動する社会局・予防局・職能局との連絡調整を実施、他局との協働する事業については、局長間で情報共有し、効率的な事務執行に努める。また、引き続き、公開講座、理学療法週間事業障害予防事業、地域包括ケアシステム推進協力事業や日本理学療法士協会主催の

中央研修会等に派遣する会員選考や調整を行っている。

一 社会局 一

社会局は、地区での公開講座の開催や理学療法週間事業等を通じて理学療法・理学療法士の広報啓発活動を行う。また、士会内外の調査を他局と連携などとして調査を行い、県民、会員の皆様に還元する。

広報啓発部

1. 理学療法週間事業

①メディア（SBS）を利用した広報啓発活動
内容：ラジオ放送での理学療法週間アピール
期日：平成30年7月

②図書館とタイアップした広報啓発活動
内容：図書館内の特設ブースの設置
期日：平成30年7月～8月
場所：県内図書館

③養成校オープンキャンパスでの広報啓発活動
期日：平成30年4月～7月
場所：県内の協力頂ける養成校

④高校生施設見学の実施
内容：県内高校生の施設見学
期日：平成30年7月16日～8月4日
場所：県内の協力頂ける施設

⑤全国統一キャンペーンの開催

2. 介護予防事業での広報啓発活動

①配布物による広報啓発活動
内容：介護予防事業に合わせた配布物の準備

②媒体を使った広報啓発活動
内容：介護予防事業へのポロシャツやのぼりの貸出

調査部

1. 教育局との合同調査

内容：教育管理系専門部会の実態調査

期日：7月～12月

2. 社会局調査

内容：自治体への理学療法士による公益事業ニーズに関する調査

期日：7月～9月

公開講座部

1. 県理学療法士学会での公開講座開催準備および運営に関わる支援

2. 県内各地区での公開講座の開催

東部地区（富士支部）：富士宮市（7月）

中部地区（志太榛原支部）：藤枝市（7月）

西部地区（小笠支部）：菊川市（7月）

テーマ：メタボ予防、ロコモ予防、認知症予防など
講師：開催支部の介護予防推進リーダー等から選出

一 予防局 一

予防局は、より地域社会への障害予防事業に特化した活動を推進していく所存である。様々な年齢層の地域住民からの要望を、これまで以上に適切に対応するため3部に分かれて活動する。スポーツ選手や大会サポートを対象とするメディカルサポート部。県民、主に学童と産後ママを対象とする健康増進部。そして企業や働き盛りの中年を含めた年齢層以上を主対象とした介護予防部である。

より一層県民への障害予防と理学療法士の認知度を向上していく所存である。

メディカルサポート部

1. 活動内容

①メディカルサポート部

- ・メディカルサポート部役員会(11月)
- ・メディカルサポート部合同研修会(8, 10, 1月)
- ・静岡マラソン事前会議(1月)

- ・静岡マラソン（3月）

②高校野球部門

- ・第65回春季東海地区高等学校野球静岡県大会(5月)
- ・第100回全国高等学校野球選手権静岡大会（7月）
- ・第71回秋季東海地区高等学校野球大会静岡県大会（9月）
- ・甲子園研修（8月）
- ・スポーツ・ドクターとPTによる野球障害予防講習会(1月)
- ・メディカルサポート訪問事業（県下6校：4月～3月）
- ・各地区でのワークショップの開催（4月～7月）
- ・役員会（4月・7月・1月）

③障害者野球部門

- ・身体障害者野球（静岡ドリームス）練習
- ・第26回選抜全国大会 帯同（5月）
- ・第15回 ドリームカップ（7月）
- ・ゼット杯第13回中部・東海身体障害者野球大会兼第20回全日本身体障害者野球選手権大会（地区代表決定戦）(9月)

④障害者陸上部門

- ・静岡県障害者スポーツ大会・わかふじ大会陸上競技（9月）
- ・全国障害者スポーツ大会合宿および練習会（6月）
- ・全国障害者スポーツ大会 帯同（10月）
- ・静岡県車椅子マラソン合宿（10月）
- ・静岡県障害者陸上競技記録会（4, 11月）

⑤高校テニス部門

- ・静岡県高校生テニス選抜強化合宿（8月・3月）

⑥サッカー部門

- ・静岡県シニアサッカーフェスティバル in ECOPA2018（6月）
- ・第20回清水レディースカップサッカー大会（7月）
- ・第32回全国少年少女草サッカー大会（8月）
- ・静岡県U11・12トレセンサポート（年5回）
- ・第25回新春静岡U-11サッカー大会（1月）
- ・新春静岡サッカー大会（1月）

2. 広報活動

- ①メディカルサポート部 HP の運営
- ②活動報告とあわせて県土会 HP、ゆまにてに掲載

介護予防部

1. 公民館講座での講演

テーマ：理学療法士による健康なからだづくり講座

期間：平成30年6月～平成31年1月まで 計8回

会場：葉梨公民館（藤枝市）

講師兼スタッフ：小原智永

2. 介護予防キャラバンの支援

富士宮市、富士市、長泉町、伊東市、東伊豆町、静岡市2会場、藤枝市、浜北市、浜松市、森町

3. 各イベント支援

- 1) 認知症啓発イベント（ラン伴2018）
- 2) 元気ふじえだ健康ウォーキング
- 3) まきのはらビタミン2DAY ウォーキング
- 4) ダイハツ工業のコラボ企画
- 5) しずおか元気応援フェアへの支援

健康増進部

1. ウィメンズヘルス関連の県民向け教室

会場：西部、中部、東部

日程：未定（各地域で合計10回開催予定）

2. ウィメンズヘルス関連の県民向け教室のパッケージ作成。会議を年3回実施し、教室の内容、

運営や広報の方法などについて検討し県土会として開催するウィメンズヘルス関連教室の標準的な商品の作成を行う。

一 職 能 局 一

多様化する職能局事業に対応できる組織編成し社会背景と医療・介護の方向性を念頭に報酬関連の動向を調査し、地域包括ケアシステム推進へ向けた体制強化と人材育成（医療・介護）等を実施する。また、理学療法士の職域拡大、身分の保証に関する事業を展開する。さらに、県民に対する対応ができるように市町とも連携していく。

医療介護保険部

1. 医療保険・介護保険の次回同時改定に向けての

情報収集ならびにホームページを通じての早期情報公開

2. 医療保険・介護保険に関する会員からの問い合わせの受付と調査・報告
3. 協会との情報交換
4. 研修会への講師派遣
5. 適切に施設管理を行う為の情報共有

地域包括ケアシステム推進部

1. シルバーリハビリ体操養成システムの市町における導入への取り組み。
2. 地域におけるリハ職活用のための広報活動
3. 他の部局・地区ブロック事業の地域包括ケアシステムにおける事業との連携・協力。
4. 静岡県リハビリテーション専門職団体協議会における事業との連携・協力

職能研修部

1. 初級管理者研修会の開催
2. 領域別管理者研修（急性期、回復期、生活期）の開催
3. 部門責任者協議会の実施
4. 静岡県リハビリテーション専門職団体協議会における事業との連携・協力

障害児者福祉部

1. 障害児・者のリハビリマップ作成（通所施設調査の実施）
2. 障害児・者の通所施設ネットワーク構築

= 地 区 事 業 =

共通

1. 地域包括ケアシステムにおける連携、協力
2. 地域ケア会議への関わり強化

3. 他団体への講師、役員選出、派遣
4. 介護予防キャラバン、各種イベントに関わる運営協力（各地区開催）
5. 新人教育プログラム研修会の運営協力
6. 地区症例検討会の開催協力
7. セクハラ・パワハラ等地区相談窓口の開設準備
8. 女性会員の活躍できる場づくり推進
9. 支部組織の構築および連携強化（情報交換会）
10. 地区連絡網の整備及び地区会員名簿の管理
11. ホームページ活用（行事案内、報告）
12. その他、地区事業に関すること

西部

1. 豊田ふれあいフェスタ
2. 森町ふれあいまつり
3. 浜北ふれあい広場
4. 福祉ふれあいフェスタ in はままつ
5. メディメッセージ

中部

1. 健康フェスタ（清水テルサ）
2. 地域交流祭り（リハパーク静岡）
3. スポーツ&健康フェスタ（静岡県武道館）
4. 元気応援フェア（ツインメッセ静岡）
5. 元気ふじえだ健康ウォーキング
6. まきのはら 2day ウォーキング

東部

1. 富士宮市健康まつり
2. 富士市健康まつり
3. 駿東健康まつり
4. ふく see ぬまづ福祉まつり
5. 伊東フェスタ
6. 東伊豆町健康福祉ふれあい広場
7. シラトリ理学療法啓発活動

— 代議員・委員会 —

代議員

(公社)日本理学療法士協会 第47回定時総会

場所：ベルサール汐留 2Fホール

【第47回定時総会】

日時：①平成30年6月2日(土) 13:00~18:30

②平成30年6月3日(日) 9:00~12:00

倫理委員会

1. 会長からの諮問を受け、倫理委員会を開催する
2. 各地区長と協働し、ハラスメント相談窓口の設置・運営を行う
3. 職能倫理に関する研修会を開催する
4. その他

予算編成委員会

1. 静岡県理学療法士会平成31年度予算(案)の作成~各局への案内配信
2. 予算編成会議の開催

規約審議委員会

1. 平成30年度、引き続き公益社団法人静岡県理学療法士会定款・細則・分掌規程、倫理委員会設置要綱、個人情報保護方針、個人情報取り扱いガイドライン、役員報酬等規程等の文面を検討・改定を継続する。
2. その他規約審議に関すること。

組織検討委員会

1. 新組織体制移行に関する諸課題について検討を継続(局と地区のマトリクス構造、支部組織の細分化ほか)
2. その他諮問事項に応じて対応

災害対策委員会

1. 災害対策に関する情報収集
2. 会員への災害対策に関する情報提供
3. 災害発生に備えた組織作りと活動内容の検討
4. 事業継続計画(BCP)マニュアルの修正
5. 災害対応マニュアルの修正
6. 緊急時連絡網の構築
7. 支援ボランティア登録システムの構築
8. 東海北陸学会 災害対策担当者会議への出席
9. 静岡県県リハビリテーション専門職団体協議会における事業との連携・協力

選挙管理委員会

1. 今後の県士会役員選挙の進め方についてのマニュアル作成
2. 県士会役員選挙の開催が必要になったとき(退任者が発生時など)の対応

表彰委員会

1. 表彰候補者に対して引き続き「調書」の提出を依頼する。「調書」をもとに表彰候補者名簿を作成する。
2. 功労賞表彰者および永年勤続表彰者を推薦する。
3. 他団体からの推薦依頼について前年度の資料を参考に検討をする。
4. 「他団体からの推薦依頼資料」を改訂する。

部門責任者協議会

部門責任者の管理者ネットワークの充実に資する情報提供等を実施・検討する